

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成18年10月19日(2006.10.19)

【公開番号】特開2005-74066(P2005-74066A)

【公開日】平成17年3月24日(2005.3.24)

【年通号数】公開・登録公報2005-012

【出願番号】特願2003-309963(P2003-309963)

【国際特許分類】

A 6 1 B 5/055 (2006.01)

G 0 1 R 33/42 (2006.01)

G 0 1 R 33/28 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/05 3 6 0

A 6 1 B 5/05 3 6 2

G 0 1 N 24/02 5 4 0 Z

G 0 1 N 24/02 Y

【手続補正書】

【提出日】平成18年9月1日(2006.9.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

静磁場発生手段と、傾斜磁場コイルと、高周波コイルと、核磁気共鳴信号検出コイルと、これらのコイルへの電力供給又は検出信号を受信する機器と、動作制御機器と、上記コイルへの電力供給又は検出信号を受信する機器と動作制御機器とを収容する筐体とを有する磁気共鳴イメージング装置において、

上記筐体は、接地でき、かつ、冷却媒体を流すことができる管状部材を有することを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。

【請求項2】

請求項1記載の磁気共鳴イメージング装置において、上記筐体は、装置外部の接地線に接続される接地材を有することを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。

【請求項3】

請求項1記載の磁気共鳴イメージング装置において、上記筐体は、上記機器毎に電磁遮蔽する電磁遮蔽板を有することを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。

【請求項4】

請求項1記載の磁気共鳴イメージング装置において、上記管状部材は接地材を兼ね、上記管状部材内に冷却媒体を循環させることで上記筐体を冷却することを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。

【請求項5】

請求項1記載の磁気共鳴イメージング装置において、上記管状部材は接地材を兼ね、上記管状部材は、孔が形成され、この孔から冷却用気体を上記筐体内に放出して冷却することを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。

【請求項6】

請求項1記載の磁気共鳴イメージング装置において、上記筐体は、天板部と、棚板部と、これら天板部及び棚板部を支持する柱部からなるフレームにより形成され、上記管状部

材は、上記フレームに沿って配置されることを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。

【請求項 7】

請求項 4 記載の磁気共鳴イメージング装置において、上記管状部材内に循環される冷却媒体を熱交換する熱交換器が上記筐体の外部に配置されていることを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。